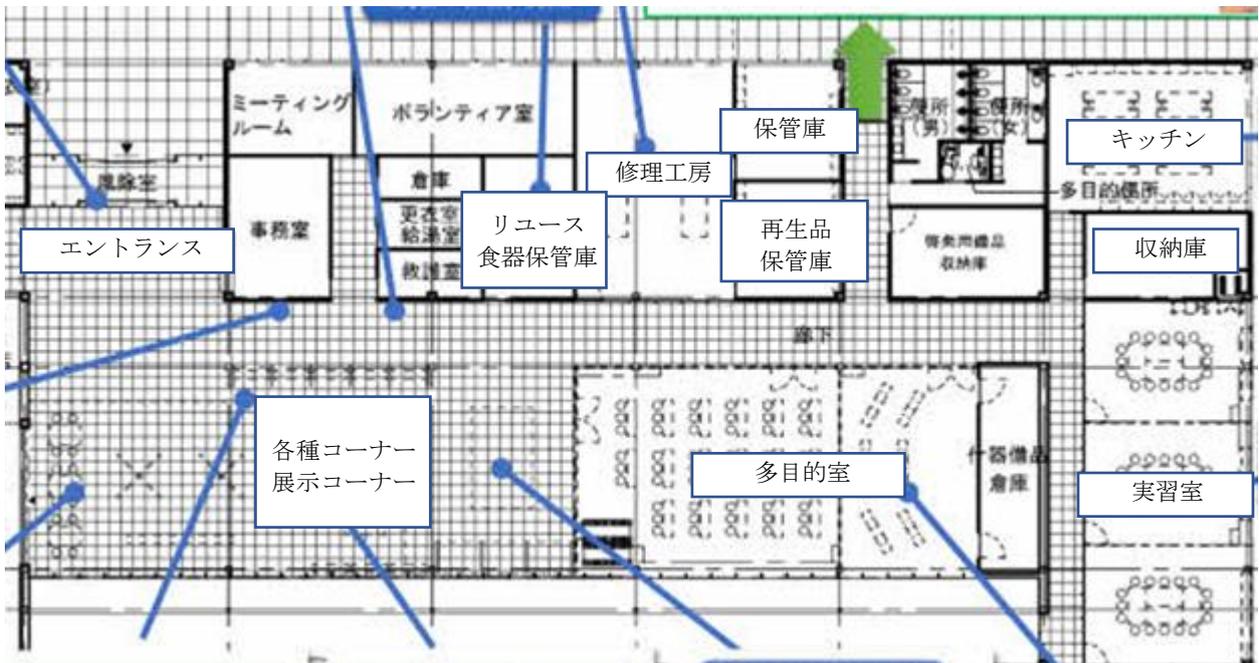


環境学習施設



諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	手芸 (①古着のリメイク手芸)		
類型			
ねらい	着られなくなったお気に入りの服などを使って、他のものに作り変え、長く大切に使う		
展開方法			
所要時間			
開催頻度			
対象と定員	基本的には大人向けだが、子供向けの夏休み特別講座なども企画する 10名程度		
場所、面積	実習室	講師	
設備・備品	ミシン 5台 アイロン 5台 はさみ(裁ちばさみ) 5個	他洋裁道具 5式	
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約制:2時間程度でコースターなど小物を作成(無料) ● 毎週1回又は隔週で定期的に通い、3か月から1年かけてじっくり作品づくりに取り組む。テーブルセンター、マット、バッグなど(材料費と講師料は実費) ● 1日講習でランチョンマットやポシェットなどを作成。 ● 古着は各自持込みによって、基本的には無料だが、古着以外のパーツ(バッグの持ち手やボタンなど)を使う場合は材料費は自己負担。 ● 傘布を使ったエコバッグ、レインコートづくり、パッチワーク、ペットの服作りなど様々なアイデアで古着を活用 		
運営・進行	専門の技術と知識を持った講師を依頼して指導してもらう 簡単なものは、技術を学んだボランティアスタッフが行う		
有識者からのヒアリング結果	設備備品について コースター程度のものであれば特別な道具を使用せずとも裂き織り、ニットを解いて使用するなどで作成可能である。		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	手芸 (② 裂き織り)		
類型			
ねらい	着なくなった服を裂いて織物を作ることで、物の大切さとごみ減量の大切さを感じてもらう		
展開方法			
所要時間			
開催頻度			
対象と定員	基本的には大人向けだが、子供向けの夏休み特別講座なども企画する 10名程度		
場所、面積	実習室	講師	
設備・備品	機織機 幅 600(移動式) 5台 はさみ(裁ちばさみ) 5個 他洋裁道具 5式		
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約制:2時間程度でコースターなど小物を作成(無料) ● 毎週1回又は隔週で定期的に通い、3カ月から1年かけてじっくり作品づくりに取り組む。テーブルセンター、マット、バッグなど(材料費と講師料は実費) ● 1日講習でランチョンマットやポシェットなどを作成。 ● 古着は各自持込みによって、基本的には無料だが、古着以外のパーツ(バッグの持ち手やボタンなど)を使う場合は材料費は自己負担。 ● その他、着なくなった服を裂いてわらじを編む 		
運営・進行	専門の技術と知識を持った講師を依頼して指導してもらう 簡単なものは、技術を学んだボランティアスタッフが行う		
有識者からのヒアリング結果	<p>設備備品について</p> <p>機織機(固定式) 作品を作り始めると、完成まで糸を取ることはできない。年間5人のために高額な機織機が必要が疑問である。</p> <p>固定式は1~2台にして来た人が誰でも体験できるような使用方法が望ましい。</p> <p>固定式、卓上式共に縦糸を機織機にセットするには専門的な知識と経験が必要であり、扱いが難しいため、講師が必要である。</p> <p>コースター程度のものであれば特別な道具を使用せずとも裂き織り、ニットを解いて使用するなどで作成可能である。</p>		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	手芸 (③布わらじ)		
類型	個人		
ねらい	昔の生活の環境に対する負荷について考え、自身のライフスタイルを考えるきっかけづくり		
展開方法			
所要時間			
開催頻度			
対象と定員	基本的には大人向けだが、子供向けの夏休み特別講座なども企画する 10名程度		
場所、面積	実習室	講師	
設備・備品	はさみ(裁ちばさみ) 5個 他洋裁道具 5式		
内容と進め方 (検討中)			
運営・進行	専門の技術と知識を持った講師を依頼して指導してもらう 簡単なものは、技術を学んだボランティアスタッフが行う		
有識者からのヒアリング結果	<p>設備備品について</p> <p>機織機(固定式)作品を作り始めると、完成まで糸を取ることはできない。年間5人のために高額な機織機が必要が疑問である。</p> <p>固定式は1~2台にして来た人が誰でも体験できるような使用方法が望ましい。</p> <p>固定式、卓上式共に縦糸を機織機にセットするには専門的な知識と経験が必要であり、扱いが難しいため、講師が必要である。</p> <p>コースター程度のものであれば特別な道具を使用せずとも裂き織り、ニットを解いて使用するなどで作成可能である。</p>		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

<⑨>

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	手すき和紙作り		
類型			
サブプログラム名	牛乳パックを使った再生紙づくり		
ねらい	牛乳パックから紙を作ることでごみ減量と物の大切さを学ぶ		
展開方法			
所要時間 (検討中)	予約(当日申込み OK)して 2 時間程度で作成		
開催頻度			
対象と定員 (検討中)	10 組		
場所、面積	実習室、またはキッチン	講師	
設備・備品	ミキサー 4個 バットまたはたらい 20個 木枠(ざるそばの枠可) 20個	木枠に合わせた網 20個 アイロン 4個	
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 牛乳パックは各自で持参 ● 紙すきセットを使って、ハガキサイズの再生紙を作る カレンダーや紙のお皿など 		
運営・進行	ボランティアスタッフが指導。前回使用の溶液を無駄にせず絞って取っておく、		
有識者からのヒアリング結果	<p>設備備品について</p> <p>紙の漉き方によっても変わってくるが初心者の場合ハガキサイズ以上の紙を作ることは困難。はがき用の漉き枠は教材で販売しているので買うことが望ましい。多くの人数を短時間で対応するようであれば、脱水機や乾燥機が必要となる。20 人程度の流し漉きをする上で、最低限、<u>テンバコ1個、バット1個、バット用網1個、バケツ2個、ボウル1個、オタマ1個、アイロン1台、ステンレス板1枚、漉き枠5個、脱水用ジャッキ等または脱水機1台、布(人数分)、かき混ぜ棒1個、乾燥板または乾燥機、原料、ネリが必要</u>である。</p> <p>本格的な紙づくりに関しても、使用する道具はほぼ同様となるが流し漉きの場合漉き枠は専門のものをしようすることになる。管理やメンテナンスの面で、専門的な知識が必要となる。溜め漉きであれば専門的な技術がなくてもそれなりの紙は漉けるし漉き枠も作りやすい。</p>		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	廃油ローソク		
類型			
ねらい	廃油を利用してローソクや石けんを作ることによって、油を捨てずに済み、水を汚すこともなくなるということを学ぶ		
展開方法			
所要時間	予約(当日予約 OK)して 2 時間程度で作成		
開催頻度			
対象と定員 (検討中)	大人から子ども向け 10 組		
場所、面積	実習室	講師	
設備・備品	金属製のボウル 4個 お玉 4個 なべ 4個 バケツ 4個 ひしゃく 1個 卓上 IH コンロ 4台 長いゴム手袋 個	金属製の鍋(取って付) 個 (直径 140~160 mm、容量 1.0~1.5ℓ) 小型容器(プラスチック製又は紙製の容量 100ml程度の小型容器) その他の消耗品(クレヨン 3 色程度、油凝固材、香料、芯になる紐等)	
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用済の食用油を持参してもらう。 ● 型にする牛乳パックやガラス瓶、アルミカップ等も持参してもらう。 		
運営・進行	ボランティアスタッフの指導のもと実践。火を使うのでサポートスタッフ数名必要		
有識者からのヒアリング結果	<p>設備備品について</p> <p>廃油をこすための漉し器(コーヒーフィルターでも可)</p> <p>石けんづくりで使用する苛性ソーダは劇薬のためゴーグルや皮膚につかないように長いゴム手袋などが必要。蒸気も毒性があるので換気が十分出来る部屋が必要。完成までに1ヶ月かかる。</p>		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	廃油石けんづくり		
類型			
ねらい	廃油を利用してローソクや石けんをすることによって、油を捨てずに済み、水を汚すこともなくなるということを学ぶ		
展開方法			
所要時間	予約(当日予約 OK)して 2 時間程度で作成		
開催頻度			
対象と定員 (検討中)	子供向け 30 人程度まで		
場所、面積	実習室	講師	
設備・備品	<ul style="list-style-type: none"> ・長いゴム手袋 ・ゴーグル <原料> ・苛性ソーダ ・廃油 		
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用済の食用油を持参してもらう。 ● 型にする牛乳パックやガラス瓶、アルミカップ等も持参してもらう。 		
運営・進行	ボランティアスタッフの指導のもと実践。火を使うのでサポートスタッフ数名必要		
有識者からのヒアリング結果	<p>設備備品について</p> <p>廃油をこすための漉し器(コーヒーフィルターでも可)</p> <p>石けんづくりで使用する苛性ソーダは劇薬のためゴーグルや皮膚につかないように長いゴム手袋などが必要。蒸気も毒性があるので換気が十分出来る部屋が必要。完成までに1ヶ月かかる。</p>		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」 (企画自体検討中)		
プログラム名	ガラス細工		
類型			
ねらい	使用済ガラス瓶をリサイクルすることで、ごみ減量と物の大切さを学ぶ		
展開方法			
所要時間			
開催頻度			
対象と定員	大人向け 10名程度		
場所、面積	実習室	講師	
設備・備品	電気式ガラス炉 4台 (七宝焼き用) ガスバーナー 4個 耐熱手袋 4枚 喰い切りペンチ 4個 ガラス切り 4個	ガラスカッター 4個 棚版(電気炉用) 4個 雛型材 4個 チャッカマン 4個 ゴーグル 4個	防塵フィルターマスク 8箱 コンプレッサー 2個 サイドプラスト 4個 鉄心(ホンテ) 12個 断熱板(テーブル保護) 4枚 ガラスつかみ 4個
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約(当日 OK)が必要、短時間でできる簡単なもの ・ 毎週または隔週、定期的に通い、じっくり作品づくりに取り組む。 ・ 1日講習会又は半日の特別講座 <p>ガラス瓶を砕いてカレットにし、様々な作品を作る ガラス細工で比較的短時間で簡単にできるものとして以下のようなものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フェーシング(モザイクガラス) カレットを板ガラスの上に並べて模様を作り、電気炉で焼成する。 アクセサリ、小皿、箸置きなど ● バーナーワーク(トンボ玉づくり) 金属棒の先に溶けたガラスを付けガラス球を作り、模様を付け、トンボ玉を作る。 ● エナメル絵付け ガラス皿、コップなどにエナメル絵具で絵を描き、電気炉で焼き付ける。 ● ステンドグラス ハンダゴテでハンダを溶かし、ガラス片をつなぎ合わせて作品を作る。 ランプシェード、フォトフレームなど。 ● サンドブラスト コンプレッサーから砂を吹き付け、その勢いでガラスの表面を削り取って模様を付ける。箸置き、ペーパーウェイトむなど。 <p>※ 料金は講師料と材料費、実費</p>		
運営・進行	専門の知識と技術を持った講師を依頼し指導してもらう 火を使い危険なため、ボランティアスタッフも数人配置		
有識者からのヒアリング結果	ガラス細工 設備備品について 電気式ガラス炉10個必要?、ガスバーナーは酸素流量の調整できるもの、サンドブラストは4台必要?、徐冷炉は必要ない?		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	染め物		
類型			
ねらい	古着を染め直してリサイクルしたり、植物染などを行うことにより、物の大切さとごみ減量について考える		
展開方法			
所要時間			
開催頻度			
対象と定員 (検討中)	大人向け 名程度		
場所、面積	実習室またはキッチン	講師	
設備・備品	流し洗濯機 1式 物干し台 1台 小物干し 1個 ステンレス鍋、ボウル(大・小) 4式 計量カップ(大・中・小) 4式 トング 4式 菜ばし 4式 ステンレススプーン(長い柄) 4式 計量スプーン 4式	スケール 4個 ゴム手袋 4個 たらい(大) 個 鍋(大) 個 桶 個 計り 個 温度計 個 雑布 枚	
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎週または隔週の定期的な講座で 3 カ月～1 年かけてじっくり作品づくりに取り組む。料金は講師料と材料費実費 ● 1 日又は半日の特別講座で、ハンケチやスカーフ等簡単なものを作る(無料) 		
運営・進行	専門の技術や知識を持った講師を依頼 簡単なものは技術を学んだスタッフが指導する		
有識者からのヒアリング結果	設備備品について ボウル(小)、菜ばしは人数分、ステンレス鍋のサイズに合うザル2個		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	リサイクル工作		
類型			
ねらい	不要になったいろいろなものを使って工作をし、又使用することによって、ごみ減量と物を大切にすることを考える		
展開方法			
所要時間			
開催頻度			
対象と定員 (検討中)	子供向け 30名程度		
場所、面積	実習室	講師	
設備・備品	はさみ 12個 カッター台 12個 定規 12個		
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 常時体験できる。短時間でできる簡単なもの、10分～30分程度(無料) ペットボトルで作る楽器、牛乳パックで作る竹とんぼ、ジャンプへびなど ● 予約(当日でOK)が必要、2時間程度で作る(無料) 牛乳パックで作るペン立、貯金箱、ペットボトルで作るジョウロなど ● 1日講習又は半日で作る。予約(当日でOK)が必要 牛乳パックで作るペン立て、トイレトペーパーの芯で作るレーシングカーなど(無料)また、季節の行事に合わせて、様々な講座を行う。クリスマス、ひな祭り、子供の日など。リサイクル工作でなくとも、木の実、流木、石、草花などを使った工作、草笛作りなど ● 紙バンド、手芸(大人向け) <p>リサイクル工作は、アイデア次第で数限りなく様々なことが出来るので常に新しい物を提案していく。</p> <p>いくつかのレシピを常時用意しておき、どれを作りたいか選んでもらう。</p> <p>「1階さらさらアートギャラリーで作品展をおこなう。リサイクル工作コンテストを毎年開催し、発明くふう展の様に定着させていく。</p> <p>リサイクル工作で楽器を作り、3階のみてみてシアターで演奏会を行う。</p> <p>NHKの工作の番組に登場していた、ノッポさんやわくわくさんのようなリサイクル工作のカリスマのようなスタッフを育成して、名物講師になってもらう。</p>		
運営・進行	ボランティアスタッフが指導		
有識者からのヒアリング結果			

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	木工教室		
類型			
ねらい	木材、間伐材をつかって、自然について学び大切にすることを考える		
展開方法			
所要時間	内容により変動		
開催頻度			
対象と定員 (検討中)	大人または親子 10名程度		
場所、面積	実習室	講師	
設備・備品	万力 1個 ボール盤 1個 木工施錠 1個 グライNDER 1個 プロパンバーナー 1個 ベビーサンダー 1個 電気ドリル 1個 ジグソ 1個 ルータ 1個 なた(両刃) 1個	ハンマ 1個 ノミ 1個 カンナ 1個 鋸 1個 竹鋸 1個 切り出しナイフ 1個 ハンドソー 1個 ホールソー 1個 ドライバー 1個 インパクトドライバー 1個	
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎週または隔週、定期的に通って、じっくり作品づくりに取り組む。 壊れた家具の直し方講座や古材を利用した小家具づくり、端材を使った工作、ガーデニンググッズづくりなど。 家具に絵付けをするトールペイントなども行う 材料、光熱費等、実費 ● 一日又は半日の講習会、又は夏休みなどに 3日間位の短期集中講座で作品を仕上げる。 その他、家の床や壁などの修理の講座、まな板の削り方講座など どんどん増える竹を使用して楽しい物づくりをする。 和風、知恵の輪、竹かご、竹とんぼ、竹馬、水鉄砲、うぐいす笛、ミニ門松、フロアースタンド、竹灯籠、花瓶、燻し竹のすだれ、竹炭焼き、燻し竹、その他 		
運営・進行	専門の技術と知識を持った講師に依頼 簡単なものは、技術を学んだスタッフが行う		
有識者からのヒアリング結果	設備備品について 5組10名と考えるとハンマー、鋸等の基本的な道具は最低5セットは必要？		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	竹工芸		
類型			
ねらい	竹林を整備しながら、竹を使ったものづくりをなどを通し、竹を楽しむプログラム		
展開方法			
所要時間	内容により変動		
開催頻度			
対象と定員 (検討中)	大人または親子 10名程度		
場所、面積	実習室	講師	
設備・備品	ミニパネルソー竹細工150 鞘入り横手小刀90mm鋼付 鋼割込竹割り鉋180mmカバー付 木槌48mm 追入り鑿15mm鋼付 紙ペーパー付		
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎週または隔週、定期的に通って、じっくり作品づくりに取り組む。 壊れた家具の直し方講座や古材を利用した小家具づくり、端材を使った工作、ガーデニンググッズづくりなど。 家具に絵付けをするトールペイントなども行う 材料、光熱費等、実費 ● 一日又は半日の講習会、又は夏休みなどに 3日間位の短期間集中講座で作品を仕上げる。 その他、家の床や壁などの修理の講座、まな板の削り方講座など どんどん増える竹を使用して楽しい物づくりをする。 和風、知恵の輪、竹かご、竹とんぼ、竹馬、水鉄砲、うぐいす笛、ミニ門松、フロアースタンド、竹灯籠、花瓶、燻し竹のすだれ、竹炭焼き、燻し竹、その他 		
運営・進行			
有識者からのヒアリング結果			

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施 プログラム	実習室 / 「どきどき。トライ！」		
プログラム名	実験教室		
類型	個別、団体		
ねらい	様々な実験を通して、環境問題に関心を持つきっかけづくりをする		
展開方法			
所要時間			
開催頻度			
対象と定員 (検討中)	子供 名程度		
場所、面積	実習室またはキッチン	講師	
設備・備品 (検討中)	顕微鏡 1個 アルコールランプ 1個 フラスコ 1個		
内容と進め方 (検討中)	<p>エコに関する様々な実験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予約(当日でOK)が必要、2時間程度で行う(無料) ● 一日又は半日講習(無料または材料費のみ) <ul style="list-style-type: none"> ➢ 水質検査 ➢ 大気検査 ➢ 土壌検査 ➢ エネルギー実験 ➢ ペットボトルから繊維を作ってみよう ➢ ソーラーカーを作ってみよう ➢ 紙の風車で風力発電に挑戦 ➢ 太陽温熱器で実験しよう ➢ 太陽熱で料理ができるかな? <p>など</p>		
運営・進行	専門の技術と知識を持った講師に依頼 簡単なものは、技術を学んだスタッフが行う		
有識者からの ヒアリング結果	設備備品について 顕微鏡は一台ということならモニターに出力できるデジタル顕微鏡がよいのでは？		

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。

諸室・実施プログラム	キッチン/「もりもり。キッチン！」	
類型	団体、個人	
ねらい	食材を無駄なく使うエコクッキングを行うことによりごみ減量を目指す	
展開方法	事前予約制、イベント等は事前告知をして参加者を募る。 静岡県の食材を使用した料理教室を開催。	
所要時間	スタッフによる指導 2時間程度	
開催頻度		
対象と定員	大人、子供、親子 16名程度まで	
場所、面積	75.5 m ²	
設備・備品 (検討中)	電気コンロ 4台 調理台 4台 テーブル 5台 椅子 20脚	冷蔵庫 1台 電子レンジ 4台 オーブン 4台 炊飯器 4個 調理道具 4式
内容と進め方 (検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ● 食材を無駄なく使いきるエコクッキングを行うキッチン ● 定期的な料理教室と、特別講座企画を行う。 ● 生ごみ堆肥の畑で収穫した野菜を調理する時も使用する。 ● 「どきどき。トライ！」の実施プログラムのうち、コンロや水道を使う講座(廃油ローソクなど)をこのキッチンで行うことも検討する。 	
運営・進行	外部講師、ボランティアスタッフ	

注) 上記は事業者として各プログラム内容・備品等についてヒアリングを実施する為のたたき台であり、確定内容ではありません。ヒアリング及び富士市殿との実施設計協議を通じ、今後見直し、最終化して参ります。